

令和5年2月28日

患者様・ご家族様へ

## 後方視的研究へのご協力をお願い

消化器内科では、過去に下記のような診療を受けていただいた患者様のデータを用いた臨床研究を行います。患者様個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究課題名：**十二指腸乳頭部癌切除検体の組織学的亜型とその臨床的意義の検討

**研究目的：**十二指腸乳頭部癌切除症例の組織学的亜型と臨床的意義を検討すること

### 研究概要：

十二指腸乳頭部癌に対する標準術式は膵頭十二指腸切除術(PD：pancreaticoduodenectomy)ですが、胆管・膵管への進展がなく、かつ微小脈管浸潤の極めて少ないとされる乳頭部粘膜内に留まる T1a までの十二指腸乳頭部癌に対しては内視鏡的乳頭部切除術(EP：endoscopic papillectomy)が理論的には適応となります。しかし T1a と Oddi 筋に達する T1b を正確に判定できるモダリティは存在せず術前診断には限界があります。一方で十二指腸乳頭部癌は組織学的亜型として intestinal type(I-type)と pancreatobiliary type(PB-type)に分類され PB-type は I-type に比較して明らかに脈管浸潤や膵浸潤が多く、組織学的な浸潤性や進行度が高いとされています。そこで当院にて EP と PD を施行した十二指腸乳頭部癌の組織学的亜型(I-type および PB-type)に基づく臨床病理学的特徴を後方視的に検討し、十二指腸乳頭部癌に対する EP の適応について検討することに致しました。

### 対象となる患者様

1999年5月から2023年2月28日までに十二指腸乳頭部腫瘍に対し内視鏡的乳頭部切除ならびに膵頭十二指腸切除術を受けられた患者様

### 研究への参加辞退をご希望の場合

この研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において既に管理している患者様のデータを使用させていただきます。患者様個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。しかしながら、様々な理由により本研究への参加を辞退される場合には、遠慮なく担当医師へご連絡下さい。本研究への参加は患者さまの自由意志であり、参加の辞退を希望されても患者様が不利な扱いを受けることは一切ありません。参加を辞退される方は、上記の公示期間内に下記の担当医師へご連絡下さい。なお、公示期間の後でも、可能な限りご希望に沿って対応いたします。

いつでも相談窓口(担当医師)にご相談下さい。

東京医科大学病院 消化器内科

電話番号 03 - 3342 - 6111 (代表) (内線) 62200

担当医師：山本 健治郎